

澁谷政策調整統括官ぶら下がりの概要

日時：令和元年8月14日 17時30分～17時37分

場所：アメリカ・ワシントンD. C.

（澁谷統括官）

昨日、ワシントンに参りまして2時から協議を開始して、つい先ほど予定していた協議をすべて終わりました。農産品、工業品それぞれの担当と、物によっては次官級で、あるいは局長級で、それぞれのレベルに分かれて議論をしました。

私は昨日来て、昨日から協議をしたのですが、担当者レベルは一部月曜日に入って、既に議論を始めているというところもありました。今週予定していた協議は今日ですべて先ほど終わったということでもあります。

8月1日、2日に茂木大臣とライトハイザー通商代表で閣僚協議を行い、その時に今月中にもう一回やろうと、その前に事務レベルをやって、その結果を踏まえて今月中に一回やろうということで、まだ日程は調整中ではありますが、おそらくそれほど遠くない時期にまた閣僚協議が行われることになると思いますので、それに向けてできるだけ論点を絞り込もうということで議論をしてきました。

もちろん物品貿易、市場アクセス交渉ですから、すべてがパッケージなので、こことここだけが片付いたと、なかなかそういう風にはいかないというのは、前回もお話したとおりですけれども、とは言いながら、相当事務レベルもやっておりますし、前回の8月1日・2日の閣僚協議で、閣僚同士かなり気合を入れて議論していただいて、論点を相当明確にさせていただいたこともありまして、今回の私の個人的な感想ですけれども、だいぶ議論が噛み合ってきたなという印象を持ったところです。

また、担当者レベルではありますけれども、原産地規則の議論も始まったところです。そういう意味ではこの議論は粛々と進んでいると、そういう状況ではないかと思えます。

閣僚協議の日程等はまだ調整中と先ほど申し上げました。

その時にまた一緒に来ることになると思いますが、またその際に、おそらく閣僚協議の合間に今回のような事務レベルを引き続きやって、閣僚と事務レベルを行ったり来たりしながらお互いにWin-Winになるような同意・合意ができるかという、それを今探りあっている状態ということだと思います。

（記者）

二日間の協議の中で、具体的に進展が見られた点がありましたら教えていただきたいのと、頂上が見えているという表現がありましたけれども、本日の協議ではどの程度頂上に近づいたとお考えですか。

(渋谷統括官)

確かに茂木大臣が前回の閣僚会議の後のぶら下がり会見で頂上が見えてきたと話されましたが、地上からも頂上は見えるわけですので、特段何合目という言い方を避けておっしゃったのだと思います。前の甘利大臣の時に8合目と発言し、その後実際の合意まで1年半もかかったわけですから、これはやはり、交渉事というのはなんとも言えないのだと思いますね。TPPの時と今回もよく似ているのですけれども、同じような論点について行ったり来たりしながら、進んだなと思ったら、次の回はまた最初から議論をやり直しとかですね、そういうことの繰り返しです。そういうことのジグザグを繰り返しながら、徐々にゴールに向かって近づいていくというのがこの手の交渉のやり方なんですね。ですから、これは進展したという風に思っても、次回また元に戻るということはよくあることで、ここはなかなか気を許せないところがあります。ただ、少なくとも先ほど申しました通り、議論がだいぶ噛み合ってきたという印象は今回特に強く思ったところでもあります。

(記者)

議論が噛み合ってきたというのは、農産品、工業品含めてでしょうか。

(渋谷統括官)

両方です。

(記者)

議論がだいぶ噛み合ってきたということですが、アメリカ側が譲歩なり、何らかの態度の軟化を見せたということはあるのでしょうか。

(渋谷統括官)

そういうことではないと思いますね。噛み合ってきたということだと思います。これまでの事務レベル協議で、毎回ぶら下がり会見をさせていただき、私もポーカークフェースでやっていますが、正直かなり徒労感があったのですが、今回はそういうことはなくて、ちゃんと議論ができたなという若干心地よい疲れを感じているところです。

(記者)

最終的な合意のまとめ方、形式的なものやその時期等ロジスティックなところについては、議論があったのでしょうか。

(渋谷統括官)

それは閣僚レベルの話なので、我々事務レベルは8月1日、2日と閣僚で議論していただいて、これとこれは事務方でやらせようといった話を中心に議論したということです。

(記者)

工業品に関しては、自動車を含めて2日間で話し合ったということよろしいでしょうか。

(渋谷統括官)

農産品も工業品も特定の品目等については、言及を控えることにしていますので、あくまでも工業品ということです。

(記者)

原産地規則の議論も始まったということですが、農産品に関するものについてですか。

(渋谷統括官)

原産地規則というのは農産品だけではなくて、工業品もありますし、一般的な原則みたいなものもあります。議論が始まったということです。

(記者)

確認ですが、日本からは、農水省、経産省、内閣官房が出席したのでしょうか。

(渋谷統括官)

外務省、財務省の担当者も出席しました。

(記者)

向こうはUSTRですか。

(渋谷統括官)

はい、そうです。

(記者)

今後のまとめ方は事務レベルの話ではないということでしたが、今後の閣僚級協議で進める内容に関しては、お話があったのでしょうか。

(渋谷統括官)

それは、閣僚レベルである程度、これは閣僚で議論する、これは事務レベルでまずやってもらおうというように既に整理がされておりますので、その前提で議論しております。

(以上)